

＜アメリカ精神医学会の診断基準＞

拒食症

- ①体重が標準体重から15%減少する
- ②体重増加や肥満に強い恐怖(肥満恐怖)がある
- ③体重や体形で過剰に自己評価する。低体重を認めない
- ④月経が3カ月以上ない

- ①むちゃ食いを繰り返す。その際、制御できない感覚がある
- ②体重増加を防ぐため、嘔吐や下剤乱用、絶食、過剰な運動などを繰り返す
- ③体重や体形が自己評価を著しく左右する

過食症

10歳代の女性に多い摂食障害。家族ともに苦しみ、長期化するケースが目立つ。重度の拒食症は命を落とす場合もある。日本摂食障害学会評議員で広島大保健管理センターの岡本百合准教授に、摂食障害の症状や対処法を聞いた。(上杉智己)

この病気 この治療

摂食障害



広島大保健管理センター准教授 岡本百合さん

摂食障害とは。食事のコントロールを失う病気。女性が九割を占める。食事を受けつけ

ずと体重が減っていく拒食症(神経性無食欲症)と、たくさん食べても満

など不安を抱く。運動が陥りやすい。特に自信が揺らいでいる時は要注

女性に多い拒・過食 不安解消へ心理療法

や低体温・低血圧、肝・腎機能障害、貧血、浮腫、産毛の密生などもみられる。栄養失調などによる致死率は3%を超えると

身体的に危険な状態の場合、点滴やチューブで栄養補給する。通常は心理療法が中心になる。認知行動療法では、ゆがんだ体重観・身体像を少しずつ直しても

「なぜ摂食障害に。きっかけはダイエットに限らず、恋愛問題や友人関係の悩みといった心理的なストレスからやせ始め、やがてコントロールを失ってしまうことも

ある。性格的に完璧主義のいわゆる「いい子」語り合うグループ療法も

お星も石森バンノタカキベーカーリー

「摂食障害」についての質問・相談を募集します。郵便、ファクス082(291)5828、メールkurashi@chugoku-np.co.jp

中国新聞文化部「この病気この治療」係まで。掲載は匿名ですが、住所、名前、年齢、性別、連絡先を明記してください。

「摂食障害」についての質問・相談を募集します。郵便、ファクス082(291)5828、メールkurashi@chugoku-np.co.jp

中国新聞文化部「この病気この治療」係まで。掲載は匿名ですが、住所、名前、年齢、性別、連絡先を明記してください。

「ピリ」運動療法柱に再発予防

心疾患の治療と臓リハビリテーションを柱に禁煙や行われる。リハビリ患者は、死亡結果も出ている。東京都の伊東春樹(内科)は心臓リハレ強調する。

効果がある。抗うつ薬や抗不安薬など薬物療法を用いる場合もある。

「母親が過保護すぎた」「父親が厳しすぎた」など患者探しは避け、回復にとつて何が大切かを優先して考える。焦らず、長い目で対応を。父親のかかわりも大切。疲れている母親を支え、ぎくしやくしがちな母親と患者の関係を安定させる役割もある。